



平成 22 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 シンフォニアテクノロジー株式会社
代 表 者 取締役社長 武藤 昌三
(コード番号 6507 東証 第一部)
問 合 せ 先 総務人事部 総務秘書グループ長
増田 理史
(TEL 03-5473-1800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 8 月 6 日（連結）及び平成 22 年 5 月 14 日（個別）に公表した業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	31,500	500	750	750	5.04
今回発表予想（B）	31,500	100	450	250	1.68
増減額（B-A）	0	400	300	500	-
増減率（％）	0.0	-	-	-	-
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 22 年 3 月期第 2 四半期）	26,322	1,572	1,810	1,231	8.28

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	72,000	2,000	1,200	700	4.71
今回発表予想（B）	74,000	2,300	1,500	1,000	6.72
増減額（B-A）	2,000	300	300	300	-
増減率（％）	2.8	15.0	25.0	42.9	-
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	62,387	213	224	621	4.17

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	23,700	435	800	800	5.38
今回発表予想（B）	25,300	300	0	100	0.67
増減額（B-A）	1,600	735	800	700	-
増減率（％）	6.8	-	-	-	-
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 22 年 3 月期第 2 四半期）	20,767	1,083	1,266	776	5.22

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	56,200	1,800	1,000	500	3.36
今回発表予想（B）	59,000	2,180	1,400	800	5.38
増減額（B-A）	2,800	380	400	300	-
増減率（％）	5.0	21.1	40.0	60.0	-
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	49,291	377	45	630	4.24

(修正の理由)

(1)第 2 四半期累計期間

第 2 四半期累計期間の連結業績予想につきましては、半導体・液晶機器、サーボアクチュエータ等の需要回復により、第 1 四半期の業績は前年同期比で増収増益となり、第 2 四半期の業績も引き続き堅調に推移していることから、営業利益、経常利益、四半期純利益については前回予想（平成 22 年 8 月 6 日公表）を上回る見込みです。

なお、第 2 四半期累計期間の個別業績予想につきましても、前回予想（平成 22 年 5 月 14 日公表）から上方修正いたします。

(2)通期

アジア新興国経済は堅調に推移しておりますが、円高の進行による米国、欧州への輸出停滞や輸出価格の下落ならびに国内においても公共投資の落ち込みや民間設備投資回復の遅れの影響により、景気の先行きについては不透明感を増しつつあります。

このような状況の下、通期の連結業績予想につきましては、半導体・液晶機器、サーボアクチュエータ、クラッチブレーキ等の堅調な需要が継続すると予想されることから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想（平成 22 年 8 月 6 日公表）を上回る見込みです。

なお、通期の個別業績予想につきましても、前回予想（平成 22 年 5 月 14 日公表）から上方修正いたします。

(注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上